

関平だより

平成 27 年 4 月号

発行 霧島市営 関平鉱泉販売所

0120-235-524

定休日は第1及び第3火曜日

4月の定休日は **7日(火)**・**21日(火)** です。

霧島の歳時記

いよいよ新緑の芽吹きが始まりました！！霧島連山は、火山が形づくった美しい山々や多くのカルデラの池、四季折々の花々たちが独特の景観を見せてくれます。3月下旬になると大浪の池周辺で霧島に春を告げる花マンサクが咲き始め4月に入るとハルリンドウ、ノカイドウと霧島を代表する花々の時期が始まります。そして

5月になればキリシマミツバツツジ、ミヤマキリシマと続きます。霧島連山は「日本百名山」にも選ばれており、多くの登山客で賑わいます。本格的な夏山シーズンを迎え、登山者の安全祈願の神事が行われます。終了後、各自コースに分かれ霧島連山の清掃登山を行います。

霧島連山夏山開き

日時：平成 27 年 4 月 12 日(日)
お問い合わせ先：霧島連山自然保護協議会
TEL：0995-45-5111



▲ 霧島連山夏山開き (高千穂河原)

初夏の霧島連山をお楽しみください！！



▲ えびの高原のミヤマキリシマ
見頃＝4月下旬から5月上旬頃



▲ 世界で唯一霧島山に自生するノカイドウ
見頃＝5月中旬から6月中旬頃

関平温泉湯の神祭り

『原田丑太郎への感謝と源泉の永続と安全』を祈って！！
『関平温泉湯の神祭り』が開催されます！！

開催日：平成 27 年 4 月 21 日(火)



関平温泉は、一八三二年(天保三年)原田丑太郎という田舎武士が発見したという伝説が残っています。以来、絶えることなく湧き続け、名泉として全国に名が知れるようになりました。＝関平温泉の源泉

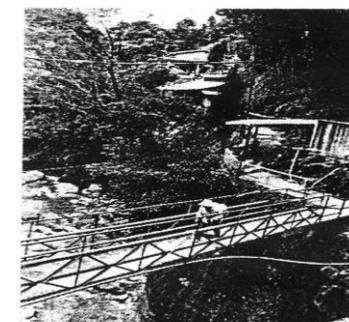


▲ 関平の源泉で、和気神社の神官のもと感謝祭が厳かに執り行われます。(湯の神祭り)

○関平温泉の沿革

天保三年八月(一八三二)	原田三太郎(文正)	明治十五年(一八八二)	明次研助	？	床次牛太郎(たごあり)	？	上野栄吉(？)	昭和十一年(一九四七)	昭和十一年(一九四七)	？	奥武雄(？)	昭和五十一年三月(一九七六)	牧園町
--------------	-----------	-------------	------	---	-------------	---	---------	-------------	-------------	---	--------	----------------	-----

※昭和 51 年(1976) 3 月奥武雄氏より、立木、施設(本館・湯治小屋・浴場)の全部を購入し、完全に牧園町有となった。



関平温泉

和気公園藤祭り

桜の次は藤の花「和気公園藤祭り」が開催されます！！

霧島市の和気公園では4月中旬頃「藤まつり」が開催され毎年大勢の見物客が訪れます。例年の見ごろは4月中旬から5月初めの約10日間で、今年は4月18日(土)に開花セレモニーが予定されています。

お問い合わせ先：和気公園藤祭り実行委員会
TEL：0995-54-6410



▲ 薄紫、紫、ピンク、白と色とりどりの花房が下がる藤棚は幻想的です。

『霧島神水峡遊歩道』がオープンしました！！

霧島神宮近くにある霧島大橋周辺の霧島川沿いが整備されて散策できる遊歩道が3月15日午後から一般開放されました。火山の噴火でできた柱状節理（画像上）があるところには、展望デッキも整備されています。美しい渓谷と霧島山噴火が造り出した景観が魅力のパワースポットです。ダイナミックな景色をどうぞご覧ください。 ※神水峡まで関平鉱泉所から車で約20分の距離です



【龍神の蛇口】
霧島神宮入口にある赤い橋の真下に「龍神の蛇口」というものがあります。ココもかなりのパワースポットです。



【縁結びの神】
案内所のすぐ下下にある「縁結びの神様」です。



【柱状節理】
神水峡を川に沿って下流に300m程下ると見えてくる「柱状節理」です。高千穂峰が大噴火をして「ココまで溶岩が流れてきた証拠です。高さは30m程、延長は100mくらいあります。」



【霧島神水峡】
橋より下流側になります。堰があるので淀みがあります。そして、青々として綺麗です。

『第30回国民文化祭・かごしま2015』が開催されます！！

国民文化祭とは、全国各地でさまざまな文化活動に親しんでいる個人・団体が日頃の活動の成果を発表し交流を深める国内最大の文化祭の祭典です。毎年、全国規模で開催されています「国民体育大会」になぞらえて「文化の国体」と言われるほど大きなイベントとなっています。鹿児島県では初めての開催となり、平成27年10月31日（土）から11月15日（日）までの16日間に県内各市町村で100を超える事業が開催されます。霧島市では、「そらの文化祭」を皮切りに「少年少女合唱の祭典」、「神楽フェスタ」、「霧島演劇祭」、「食の祭典 in 霧島」、「霧島ダンスの祭典」、「霧島ジオツアー」の7つの事業が開催されます。また、鹿児島県が主催するシンポジウム「国際音楽祭と現代アート」もみやまコンセールで開催され、合計8つの事業が開催されます。皆様のお越しをお待ちしております。



▲ 少年少女合唱の祭典



▲ 霧島ジオツアー



▲ 神楽フェスタ

編集者のひとりごと

人間にとって安全な水を摂取するということはとても大切なことです。水は体の60%～70%を構成し、人間は生きていくために、1日に2～2.5リットルの水を必要として、そのうち飲み水から平均的に1.2リットル取っているそうです。その水が安全でなければ、いつかそれが蓄積して行って、体力が衰えるに従って問題を起こすことは間違いのないでしょう。古来の漢方医学でも「不可解な病気は水の異常として治療せよ」と言われているぐらいですから。